P

CASIO

587·593＊JA

取扱説明書

587·593

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
- 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
① 金属・皮革に対するアレルギー
② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行ってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用上の注意

防水性
●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表します。
※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。
防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行わないでください。
●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
●電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの店あるいは「修理サービス窓口」にお申し付けください（特殊な治具を必要とします）。
●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド
●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または「修理サービス窓口」にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度
●自動車ダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
●＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック
●通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因となります。

磁気
●時計機能には影響ありません。

薬品類
●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管
●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた
●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると
●「サビ」
- ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
  ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。

●「劣化」
- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。

●「かぶれ」
- 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
- 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■電池交換について

最初の電池
●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗
●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換
●電池交換は必ずお買い上げ店または「修理サービス窓口」にお申し付けください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
●電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有料となります）。

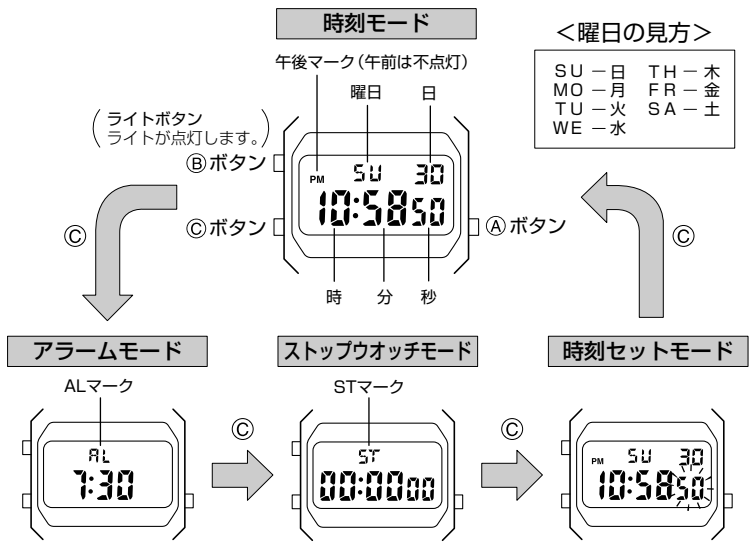
■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店または「修理サービス窓口」に交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切り替わります（押すごとに確認音が鳴ります）。

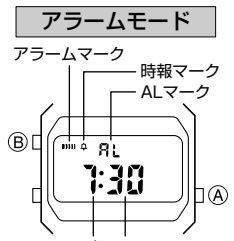
- 各モードでⒶまたはⒷボタンを押した後、Ⓒボタンを押すと直接時刻モードに戻ります。



● 時刻モードでⒶボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示（24Hが点灯）とが切り替わります。

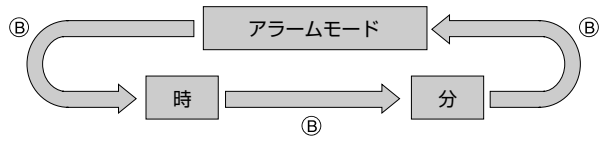
アラームの使い方… 操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間電子ブザーで知らせます。
また、毎正時（00分のとき）を“ピッピッ”と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。



■ セットのしかた

1 アラームモードのとき、Ⓑボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動。Ⓑボタンでセットしたい個所を点滅させます。



2 Ⓐボタンを押しながら表示をセットします（押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送り）。
- 時のセットのとき午前／午後にご注意ください。
- 時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制表示となります。

3 セットが終わったら、Ⓑボタンを押してアラームモードに戻します（Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻ります）。
- アラームモードのセットで表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に時刻モードに戻ります。

●アラーム、時報のON／OFF

アラームモードのとき、Ⓐボタンを押すごとにアラームマーク、時報マークが点灯、不点灯をくりかえします。
アラームマークまたは時報マークが点灯しているときがONの状態です。

●モニターアラーム

アラームモードでⒶボタンを押し続けると電子ブザーが鳴ります。

●鳴っている電子ブザーを止めるには

Ⓑボタンを押します。

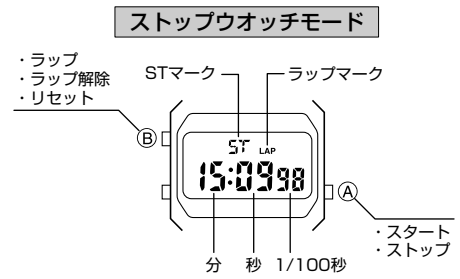
秒の合わせ方（±30秒の修正）

Ⓒボタンを押して時刻セットモードにし（秒が点滅）、時報に合わせてⒶボタンを押すと00秒からスタートします。
《00～29秒のときは00秒へ戻り、30～59秒のときは1分くりあがって00秒からスタートします。》

Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻ります。
★時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

ストップウオッチの使い方… 操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。



■ 計測のしかた

Ⓐボタンを押すごとに確認音が鳴ります。

- 積算計測
  ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート（Ⓐボタンを押す）すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●通常の計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

●ラップタイム（途中経過時間）の計測

Ⓐ スタート → Ⓑ ラップ計測 → Ⓑ ラップ解除 → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

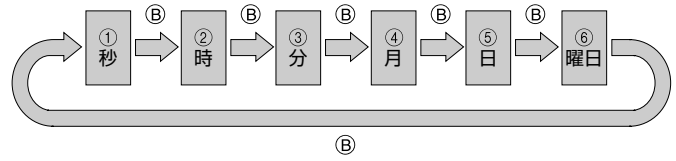
●1着・2着同時計測

Ⓐ スタート → Ⓑ 1着がゴール（1着タイム表示） → Ⓐ 2着がゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

★ストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して時刻モードなど他のモードにしても、その計測には影響ありません（ラップ計測時を除く）。

時刻・カレンダーの合わせ方

1 時刻セットモード（秒が点滅）のとき、Ⓑボタンを押すごとに以下の順で点滅が移動。Ⓑボタンでセットしたい個所を点滅させます。



2 Ⓐボタンを押しながら表示をセットします（押すごとに1つずつ進み、押し続けると早送り）。
- 「時」のセットのとき午前／午後、24時間制表示にご注意ください。
- 時刻モードのとき「月」は表示されませんが、オートカレンダー機能のため「月」を合わせます。

3 Ⓒボタンを押すと時刻モードに戻り、セット完了。
- 時刻セットモードで表示を点滅させたままにしておくと、1～2分後自動的に時刻モードに戻ります。

★カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

製品仕様

水晶発振周波数	32,768Hz
精度	平均月差±30秒以内
表示方式	FE型液晶デジタル表示
基本機能	時刻表示＝時･分･秒･午前／午後 カレンダー表示＝日･曜日
アラーム機能	時刻アラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒間 時報　毎正時に2回電子ブザーで報時
ストップウオッチ機能	計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99（60分計） 計測機能＝通常計測、積算計測、ラップ計測、1･2着同時計測
セット機能	時刻･カレンダーセット機能、秒合わせ機能（±30秒クリア） アラームセット機能
その他	自動復帰機能　モニターアラーム　12/24時間制表示切替
主要回路素子	音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC／MOS･LSI
使用電池	CR-2016（電池別途販売）
電池寿命	約7年（1日当りライト1秒間、電子ブザーを20秒間使用した場合）

カシオ計算機株式会社

MA1212-D